



ロンドンの中心部にあるデパート、ピータージョーンズ

ロンドンで暮らして② 物価高について

日系銀行勤務

由紀子アンダーセン

「百万長者」という言葉が実質上死語になって久しい。今時、数百万円持っけていても「長者」には程遠く、「億」単位の資産を持つていないとお金持ちとは一般に認められないだろう。

しかし英国では今でも「百万」すなわち「ミリオン」という単位でお金持ちになれ、いわゆる「ミリオネアー」という言葉が存在する。というのも、英国通貨のポンドは日本円に換算して240円ほどなので（2007年5月現在）、百万ポンドは2億円以上となり、数百万ポンドの資産でもかなりのお金持ちという認識となる。「億万長者」の「ビリオネ

アー」はその上をいく桁違いのお金持ちだ。

東京より高いが通説

私が英国に住み始めた頃は、1ポンドが200円ほどだった。海外旅行の時に皆さんも経験があるかと思うが、私は買い物度に値段を200倍して日本円での金銭感覚と照らし合わせ、「高い」、「安い」の判断をしたものだった。今でも日本円に換算せずに判断をすることは難しい。そして残念ながらこの判断で日本より価格が「安い」と感じることはあまりない。ロンドンでは世界で最

も物価の高い都市の一つであり、在英邦人の間では（俗に世界一生活費が高いといわれる）東京よりも高い、というのが通説となっている。

ティッシュ価格に驚く

物の値段は利用する店によって差があるが、私は英国で最も大衆的なテスコ（最近日本にコンビニ出店計画が発表されたばかり）というスーパーで主に食品や日用雑貨の買物をしている。こちらで高くて驚いたのはティッシュペーパーで、3枚重ね90組入りのクリネックス1箱が1ポンド50ペンス。日本製食品より厚地とはいえ、そう何度も繰り返し使える物ではない。また、アルカリ乾電池単3が4本で2ポンド99。こういった消耗品の節約は困難だ。愛煙家の方は1箱5ポンド50もするタバコには驚いて禁煙を決意するかもしれない。

食品で日本より少し安いと思えるのは牛肉、高脂肪クリームなどの乳製品、りんご、エスニック系食品など。同程度なのはジャガイモ、にんじん、玉ねぎなどのごく一般的な野菜、バナナなどの大衆的果物。近隣諸国からの輸入品、例えばチーズや



焼きたてパンにはさむサンドイッチの店



ベーグルショップ

少しエキゾチックな果物などは、期待するほど安くはない。例えば輸入品でない、テスコブランドの生ハムでも6枚で3ポンド前後、ちよつと高級なロースハムも4枚で同じ値段だ。本物のスペイン・イタリア産生ハムともなれば、東京のインターナショナルマーケットで買うのと変わらない。日本でよく「価格の優等

生」と呼ばれる卵も、私が通常買う種類は6個パックで1ポンド20。オーガニックのものだと2ポンド以上だ。シーフードは全般的に高く、鮮度もスーパーではあまり信用できない。私が唯一安いと感じるのはムール貝で1キロ4ポンド程度で購入できるが、少し不便なのは通常1キロ程度のパッケージで売られていて一度に全部調理する必要があることだ。

また、勤務先では昼食に和食弁当を注文することがあるが、値段は一食5〜6ポンド。日本にいた時はデパ地下のお弁当が500〜600円程度でよりどりみどりで買ったことを考えると、ロンドンでの弁当注文は贅沢をしている感が否めない。とはいえ英国で一般的ランチメニューであるサンドイッチも決して安くはない。内容やブランドにもよるが一食3〜4ポンドだ。飲み物をプラスすると簡単に5ポンドを越える。私はベーグルなど比較的安価なパンを買い、ハム、きゅうり、レタス、チーズなどはさんだサンドイッチをお昼に持って行くことが多いが、前述のようにハムやチーズもそれほど安くはないので買った場合と大きな差はない。以前の職場ではたまたま日本食レストランで同僚と昼食をと

ることがあったが、夕食と比べ割安なランチメニューでも最低10ポンドはした。日本と違って水もただでは飲めないのが、外食は割高感が大きい。また、普段行くことはないが近くのマクドナルドでビッグマック1つが2ポンド19、飲み物とフライドポテトがついたセットで3ポンド69とあったので、ファストフードでさえ必ずしも安くはないようだ。

地下鉄料金は世界一？

そしてロンドン内の重要な公共交通機関であるチューブ（地下鉄）は、恐らく世界一高い乗車料金といつて間違いないだろう。ロンドン最中心部の広いエリアをゾーン1とし、ゾーン6あるいはそれ以上（地下鉄沿線によりゾーンDまで）広がるチューブ網であるが、ゾーン1内の現金払いの片道乗車料金は、私が住み始めた2003年は1ポンド60だったのが徐々に上がり今年1月からは4ポンドとなった。ただ、オイスターカードと呼ばれるプリペイド・カードだと若干割安となる。それにしてもゾーン2からゾーン1の職場まで通勤する私の一カ月定期券の値段は89ポンド、ゾーン6からは16



ゾーン別に色分けした地下鉄路線図



ロンドン地下鉄のプリペイド・カード、「オイスターカード」

5ポンド、一番遠いゾーンDからは245ポンドである。電車代も英国ではかなり高いので、ゾーン外であるロンドン郊外から電車でゾーン1内のターミナル駅まで行きその後チューブに乗り換えて通勤する同僚などは、電車に加えチューブの定期券代という、さらに高い通勤費を払っ

ている。日本と違って通勤手当は支給されないのが、家計においては毎月の固定費として大きな負担となる。我が家では節約だけでなく運動の為に夫が片道50分歩いて通勤している。ロンドンの交通機関は故障や遅延などトラブルも多く私でもできれば歩いて通勤したいくらいだが、片道3時間近くかかるので現実的ではない。なお、交通関係ではこれに加えてロンドン中心部の商業地域で数年前から混雑税というものが導入され、この地域に入る車両は一日5ポンド払わなければならないが、最近値上げと共に指定地域がさらに広がり、現在は8ポンド。ただ、我が家には車がないのでこの制度の影響はない。

個人所得税は、平均で50%以上支払う北欧諸国などに比べると低く、しかし日本に比べると高い。基礎控除にあたるパーソナルアローワンスは毎年変わるが今年度は5225ポンド。この控除額を差し引いた所得を基にベーシックバンドと呼ばれる平均的収入レベルに適用される税率はこの年度初めに22%から20%に引き下げると発表されたばかりで、この改革によってそれまでであった10%課税の低収入バンドは撤廃される。

また平均バンド以上の所得がある人全てに適用される高収入バンドの税率は40%のままとなっている。サラリーマンの所得税は日本と同様源泉徴収され、NICと呼ばれる社会保険料も所得に、ある比率を掛けて天引きされる。日本の住民税に近い感覚のカウンシルタックスは住居形態や家族の人数、管轄する行政地区により差があるが、我が家ではいわゆる1ベッドルームフラットに2人居住で今年度は1100ポンドの支払いである。

高い住居費

公共料金や通信費はどうだろう。電気、ガス、水道、電話、テレビライセンス（NHKの受信料のようなもの）、ブロードバンドなどがあまる。これらの料金はサービスを提供する企業や住宅の設備などにより様々であり、日本と比べて大きな違いはない印象を持っている。しかし生活費の最大部分を占める住居費は非常に高い。こちらの習慣で賃貸物件の家賃表示は週単位が多いのだが、フラット（日本のマンション、アパートのこと）を探し始めた頃は1週間分を一カ月分の家賃と勘違い



不動産屋の店頭にある写真付きの広告

したほどであった。小さなフラットの高い家賃を払い続けるのも苦痛だが、ゾーン内での住居購入はたとえフラットでも高額の花、郊外で探すにしても高い通勤費や長い通勤時間を考えると気が遠くなってしまう。

しかも住宅高騰が続く英国では、郊外の物件でも期待するほど価格は安くないのが実状である。

文化施設などの入場料は、いまだに人気の高い観覧車ロンドンアイは大人1人が14ポンド50で、ファストトラックという待ち時間が少ないチケットだと25ポンドと跳ね上がる。

お城や歴史的建造物は9〜16ポンド程度。映画館の入場料は映画の種類にもよるが大人で8〜12ポンド程度で日本とそう変わらない。例外的なのは美術館の常設展で、無料のところがある。また、ミュージカル、シアター、バレエやオペラなど



不動産屋の看板が立っている賃貸物件

売却物件の看板



は常時上演のものやマチネ（昼間、通例午後の興行）もあるので、席によっては日本より割安なチケットが購入できるかもしれない。時間に余裕のある旅行者であればチケットオ



チェルシーの映画館

フィスに当日並んで半額で買える。こともある。

日本食材は日本の2〜3倍

さて、ロンドンには日本料理店だけでなく日本の食材や雑貨を売る店があちこちにある。日本人が多く住む地域には日本のように新鮮な魚を提供する店、日本人の経営する美容室、日本の雑誌や書籍を売る本屋もある。我が家は半分だけ日本家庭なので完全に和食生活をしているわけではないが、日本のものが食べたくなるとたまに日本食品店を利用する。例えば日本独特の食品である納豆、漬物類、梅干、そば、うどん、みりん、酒、味噌、鰯節や黒ゴマなど。日本のマヨネーズやノンオイルドレッシングなども欠かせない。だが、これらは通常日本の価格の2〜



日本の食材

3倍の値段である。

最近の寿司ブームのおかげか、醤油や海苔など若干の日本食品（海外生産のもの）はテスコでも買えるようになった。寿司用の中粒米も500グラムほどのパックで購入できるが、毎日和食生活を送る日本人家庭には少なすぎる量であろう。

日本の百円ショップに感激

今年日本に帰省した際、私は実家近くの100円ショップの品揃えに感激した。ロンドンでは50ペンスで買えるものはすぐには思いつかない。また、札幌のデパートの輸入食材料売り場などで英国製品を見たら、円安のせいとはいえ遠い日本まで輸送されてきている割に英国国内での価格とほとんど変わりが無いのにも驚いた。賞味期限が近くなりワゴンで安売りされていたジャムなどは、国内のスーパーでの価格より安かったくらいである。ロンドンの物価高に日々苦しむ日本人としては、英国でも日本の食材の流通がさらに増えて、もっと価格が安くなるのを願うばかりである。

www.dioce.co.jp

企業の情報や商品告知を
無料で掲載!!

企業

ユーザー

北海道の便利情報を
即座にゲット!!

dioce [ディオス]は、企業とユーザーを結ぶインターネットサイトです。
道内企業の様々な情報や商品告知を無料掲載・紹介しています。
プロモーションの一手段としてご利用ください。

ディオス・コールセンター開設

道産市場の掲載について・イベント告知について
ディオスについて・無料勉強会について
※北海道ならどこでも無料勉強会に参加します。予約優先。

☎ 0120-823-556

ディオス・インターネット・ラーニングセンター

- ・シニア向けラーニングセンター 気軽にインターネットを初めパソコンを修得。
- ・レンタルスペース インターネットがやり放題。勉強も、資料集めもここでOK!!
- ・パソコンレスキュー いつでも、困ったら即電話！即解決！

☎ 011-778-9980

札幌大同印刷株式会社

本社・製造部 〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目 TEL.011-897-9711 FAX.897-9715

営業本部 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条5丁目 TEL.011-823-6115 FAX.823-8049

企画室dio 〒064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目 TEL.011-562-1270 FAX.562-1280
(リバーサイド第2弘安ビル4F)